

# 雨となかよくくらすために「まちでできること」

- ▶ 雨水は、出来る限り「まち」で留め、雨水流出を遅らせる。
- ▶ 内水氾濫時に、建物に影響が少ない「まち」づくり
- ▶ 雨水で美しい景観と生態系を呼び込み、自然との共生
- ▶ 断水時の水を確保し安心な「まち」づくり
- ▶ 子供の遊び場・教育の場として菜園・ビオトロープや川を雨水で運用

# 通常時

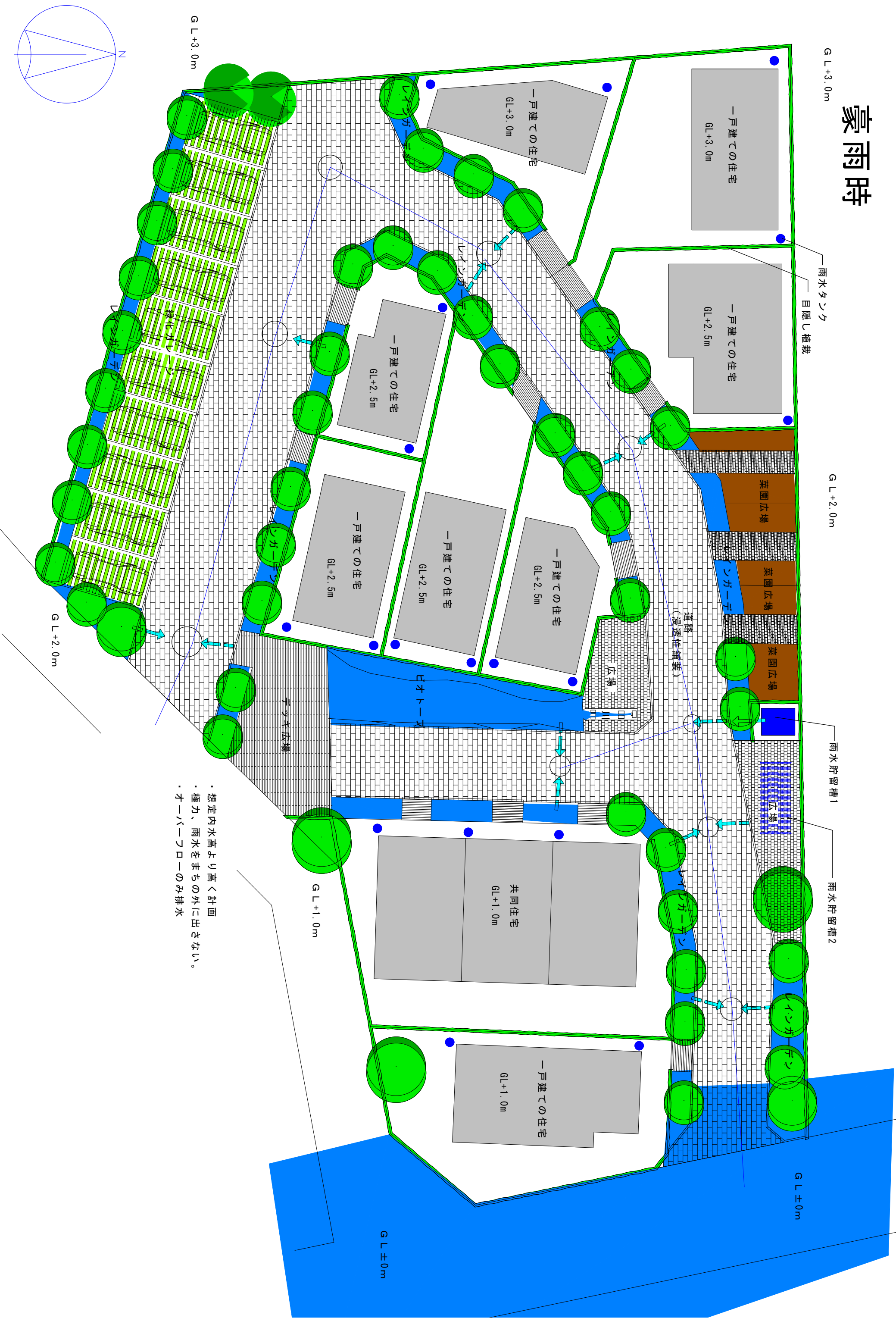


- ・側溝を造らない。  
変わりにWVガ-チン  
→持続可能  
→ヒートアイランド現象抑制  
→次貯留槽としての効果  
→敷地と道路との心理的距離を確保  
→生態系を呼び込む  
→雨を空に返し大地に返す。  
→緑豊かな「まち」の形成

- ・ピオトーアや菜園広場を確保する。  
水辺の近くに広場  
→住民が水で学び、育て楽しむ  
→リラクゼーション効果  
→コミュニティの形成
- ・雨水のランクを使い分ける。  
→戸建ての屋根・WVガ-チンを経由した  
雨水は、菜園広場やピオトーアに利用  
→共同住宅の屋根を経由した雨は、災害時に利用

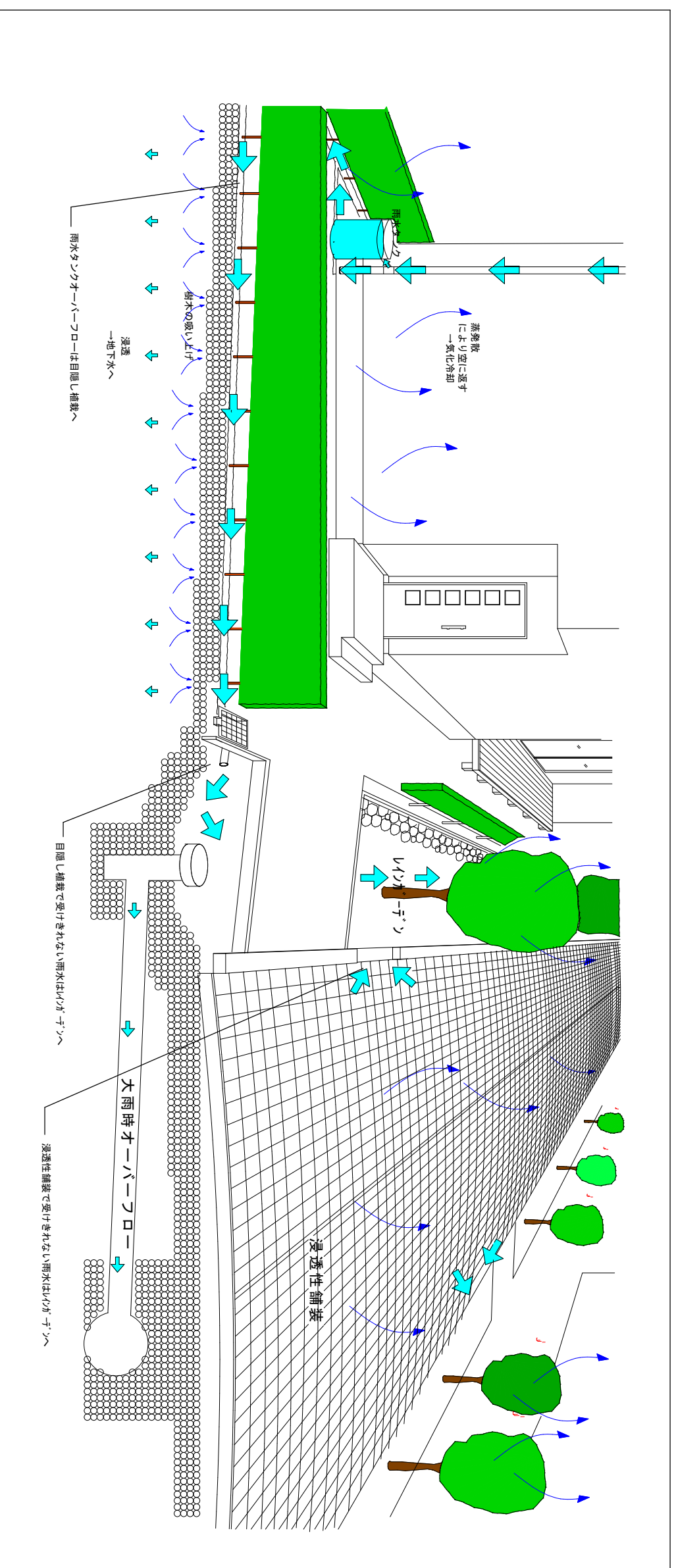
- ・タソクのオーバフローは植栽へ  
→雨を空に返し大地に返す。  
→ヒートアイランド現象抑制

# 豪雨時



- ・想定内水高より高く計画
- ・極力、雨水をまちの外に出さない。
- ・オーバーフローのみ排水





雨となかよくくらす

雨は恵みを与えてくれたり、牙を向けます。恵みは上手に利用し、牙を向けられないようなかよくくらす必要があります。

雨の恵みは、人を癒したり美しい景観をつくり、生態系を呼び込む事も出来ます。

雨が牙を向けないよう、雨は出来る限り空や大地に返しませう。

雨が牙を向けた時は、暮らしに影響が出ないように雨水を抑制させよう。

雨水をゆっくりと敷地を巡らせ、「人と雨」「事業者と行政」「人と環境」これらがWIN-WINの関係でいられる事が、これからの社会に必要な事ではないでしょうか。

